

社会資本総合整備計画
都市再生整備計画 事後評価シート
宮崎市高岡飯田地区

平成31年2月

宮崎県宮崎市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	宮崎県	市町村名	宮崎市		地区名	宮崎市高岡飯田地区			面積	42.5ha		
交付期間	平成28年度～30年度	事後評価実施時期	平成30年度		交付対象事業費	47.8(百万円)	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名									
	基幹事業		公園事業(飯田5号街区公園、6号緑地)、耐震性貯水槽(5号街区公園)									
	提案事業		事業効果分析									
			事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
	当初計画から削除した事業	基幹事業	なし				-			-		
新たに追加した事業	提案事業	なし				-			-			
	基幹事業	なし				-			-			
交付期間の変更	当初	-	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			-			-			
	変更	-										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値					
	指標1	まちづくりに対する満足度の向上	点	3	H27	H30	-	3.71	△	あり なし	6号緑地や耐震性貯水槽の整備により、地域住民の利用環境が整ったが、部分的なまちづくりに対する満足度の向上に留まった。	平成31年8月頃
指標2	年間新規着工建物件数	件/年	15	H27	H30	-	15	○	あり なし	飯田5号街区公園の将来的な整備や6号緑地の整備により、地域住民の利用環境が整うことで、居住意欲が向上する等、直接的に新規着工建物件数に貢献している。		
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値					
	その他の数値指標1	公園の整備による居住意欲の向上	点	3	H28	/	-	3.86	/	/	飯田5号街区公園の将来的な整備や6号緑地の整備により、地域住民の利用環境が整うことで、居住意欲が向上する等、居住意欲の向上に直接的に貢献している。	
その他の数値指標2	耐震性貯水槽の整備による安全性・防災性に対する満足度の向上	点	3	H28	/	-	3.94	/	/	耐震性貯水槽の整備により、安全性・防災性に関する満足度の向上に直接的に貢献している。		
4)定性的な効果発現状況	・住宅が整備されることにより、まちに賑わいが生まれ、まちの活性化が図られた。											
5)実施過程の評価			実施内容				実施状況				今後の対応方針等	
	モニタリング	なし					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-	
	住民参加プロセス	・ワークショップの実施(飯田5号公園)					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				土地区画整理事業の進捗状況により、飯田5号公園周辺に住宅が立地している件数が少ないことから、周辺の住民に対して、ワークショップに変えて幅広い意見を取り入れるためのアンケートを実施した。	
	持続的なまちづくり体制の構築	なし					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-	

様式2-2 地区の概要

高岡飯田地区地区(宮崎県宮崎市) 都市再生整備計画事業の成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
<p>豊かな自然と共生した快適で防災性の高い住環境の整備により、定住化を促進し、人口減少に歯止めをかける</p> <p>目標1 土地区画整理事業や公共下水道整備と一体的に都市基盤整備を行うことで、安全で防災性の高い宅地の創出を図る。</p> <p>目標2 土地区画整理事業や公共下水道整備と一体的に都市基盤整備を行うことで、快適な生活環境の創出を図る。</p>		まちづくりに対する満足度の向上	単位: 点	3 H27	3.85 H30	3.71 H30			
		年間新規着工建物件数	件/年	15 H27	15 H30	15 H30			
						<p>○地区内の整備状況</p> <p>・6号緑地</p> <p>・耐震性貯水槽</p>			
まちの課題の変化		<ul style="list-style-type: none"> ・防災施設として、耐震性貯水槽の整備を行うことで、安全性・防災性に対する満足度の向上が図られた。 ・土地区画整理事業と雨水幹線整備により、災害に強い安全なまちづくりが進められ、安全性の向上が図られた。 ・公園等の都市基盤施設の整備が進められ、快適な住環境が創出された。住環境についての満足度の向上が図られた。 							
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)		<ul style="list-style-type: none"> ・住民アンケート実施時に、耐震性貯水槽が設置されたことを知らないなどの回答があり、今後は地域住民への周知を図っていく。 ・引き続き災害に強い産業基盤の形成を図る。 ・ハード面の整備に加えて、避難計画等のソフト面の充実を図る。 ・地域住民と市が連携して公園の活用・維持管理を行っていく。 							